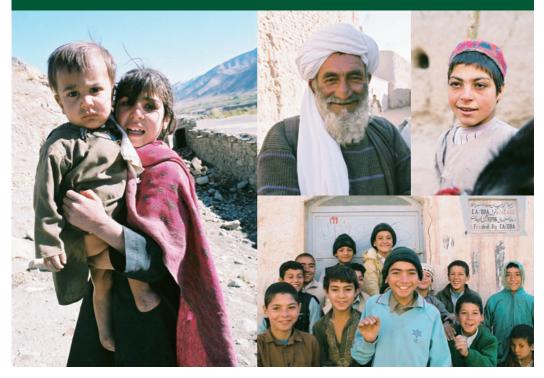


# アフガニスタンと周辺国

―6年間の経験と復興への展望―

鈴木均 編



アジア経済研究所 IDE-JETRO

### アフガニスタンと周辺国

―6年間の経験と復興への展望―

鈴木均 編

## アフガニスタンと周辺国

―6年間の経験と復興への展望―

鈴木均 編

#### 目 次

#### まえがき

序	章		鈴木	均	3
第	51章 ア	プガニスタン国家の特質と対周辺国関係	鈴木	均	15
	はじめに	<u>.</u>			15
	第1節	1989 ~ 2001 年の内戦期の遺産			16
	第2節	アフガニスタンの国家的特質について			22
	第3節	南側からみたアフガニスタン			29
	第4節	西側からみたアフガニスタン			32
	第5節	北側からみたアフガニスタン			34
	おわりに	:			36
第		・11 事件後のアフガニスタンの 2政学的枠組み	清水	学	43
	はじめに			43	
	第1節	アフガニスタンと「グレート・ゲーム」の遺産			46
	第2節	国民国家形成の苦悩とイスラーム勢力			49
	第3節	「バファー・ステート (緩衝国家)」論			53
	第4節	中央アジアをめぐる新たな動き			59
	第5節	中央アジアで存在感を強めた上海協力機構			61
	笙ら節	米国の南アジア・由中アジア戦略の再構筑			64

第7節 流通路としてのアフガニスタン おわりに	67 71
コラム ソ連・ロシアとアフガニスタン国境 金 成浩	73
第3章 南西アジアの国際関係 深町 宏樹 ―「アフガニスタン問題」とパキスタン―	79
はじめに	79
第1節 アフガニスタン・パキスタン関係小史	80
第2節 両国の主要争点	84
第3節 アフガニスタン、パキスタン、インドの相互関係	91
第4節 アフガニスタン問題のさらなる複雑化	94
おわりに	101
第4章 関係改善への遠い道のり 柴田 和重 一アフガニスタンからみたパキスタン—	105
はじめに	105
第1節 新段階に入ったアフガニスタン	106
第2節 ターリバーンとイスラーム・ウラマー協会(JUI)の 緊密な関係	112
第3節 楽観できない今後の両国関係	122
結論――不透明感が漂うアフガニスタン情勢	128
追記	130
コラム 19 世紀アフガニスタンの対周辺国関係 登利谷 正人	137
第5章 イランの外交政策形成と 田中 浩一郎 アフガニスタン問題の位置づけ	143
はじめに	143
第1節 ホメイニー期とイラン・イラク戦争(1070 ~ 1080 年)	1//

第2節	ラフサンジャーニー期と 湾岸危機・湾岸戦争の教訓(1989 ~ 1997 年)	)	147	
第3節	ハータミー期における緊張緩和政策と その展開(1997 ~ 2005 年)		151	
第4節	アフマディネジャード期の到来と 伝統的外交政策への影響(2005 年以降)		157	
おわりに	<u>:</u>		160	
コラム ア	?フガニスタン復興援助の現状と課題	大門 毅	165	
第6章 ア	フガニスタンをめぐる域内協力と復興援助	大西 圓	171	
はじめに	<u>-</u>		171	
第1節	アフガニスタンをめぐる国際情勢		173	
第2節	地域の再編と協力の枠組みへの潮流		175	
第3節	復興支援		185	
おわりに			193	
資料 アフ	7ガニスタンの言語状況	吉枝 聡子	201	
はじめに			201	
第1節	アフガニスタン国内で話されている言語		202	
第2節 公用語の現状―ペルシア語(ダリー語)とパシュトー語				
第3節	アフガニスタンにおける言語政策		207	
おわりに	<u>:</u>		208	
索引			211	

#### 執筆者一覧:

鈴木 均 (アジア経済研究所新領域研究センター)

(上智大学非常勤講師)

\*ム ソンホ 金 成浩 (琉球大学法文学部准教授)

ふかまちひろ き 深町宏樹 (桜美林大学非常勤講師)

しばたかずしげ 柴田和重 (アフガン・ネットワーク幹事)

(ペシャーワル大学大学院博士課程)

た なかこういちろう

大門 毅 (早稲田大学国際教養学術院准教授)

(日本エネルギー経済研究所中東研究センター長)

まどか おおにし 圓 大西 (IETRO 海外調查部専任調查役)

吉検 聡子 (東京外国語大学講師)

- 執筆順 -

〔アジ研選書 No.11〕

### アフガニスタンと周辺国

#### -6年間の経験と復興への展望-

2008 年 3 月●日発行 ©

定価 [本体 2800 円 + 税]

編 者 鈴木 均

アジア経済研究所 発行所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電 話 043-299-9735 (販売) FAX 043-299-9736 (販売)

> E-mail syuppan@ide.go.jp http://www.ide.go.jp

株式会社太平社 制作 印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず



ISBN978-4-258-29011-6 C3331 ¥2800E



定価[本体2800円+税]



